

事業計画を立案する際の補助資料

※ダウンロードページにPDFを別途用意

| 事業活動 デザインシート | | | | | | | | | | | |
|---|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|----|-----------|----|
| 1 まなぶ | 2 つくる | 3 つなぐ | 4 みせる | | | | | | | | |
| 知識・ 技術 | 心構え・ 態度 | 伝統や 次代 | 表現や 活動 | 生活・ 文化 | 環境・ 産業 | 作曲や 研究者 | 市民・ 社会 | 教育・ 機関 | 学術 | 産業や 技術 | 撮影 |
| <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>◎何に着目し、何をして、何を目指すのか</p> <p>■事業目的</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>※ 伴走支援的・社会還元的・価値創造的の特徴が込められているか</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>②あなたが提供したい価値は何か？</p> <p>●伝えたい魅力（心情面から）</p> <p>※ どのような好影響を予想しているか</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>③価値創出の具体的な活動は？</p> <p>●伴走支援的には、</p> <p>●社会還元的には、</p> <p>※ 活動内容に事業の意義が込められたか</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>④価値創出の効果的な手法は？</p> <p>●事業活動に用いる手段や役割など</p> <p>※ 参加者の満足度を高める対話やテクニックなどはあるか</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⑤価値創出ができると信じる理由は？</p> <p>●事業を成功させる根拠など</p> <p>※ 市場の調査や予測、理論などはあるか</p> <p>備考：事業の継続性は評価可能か？ (利他的・興行力・独自性など)</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⑥あなたが描く理想の姿は？</p> <p>●目指す事業理念（論理的に）</p> <p>※ 根拠に基づく提案力や独自性などはあるか</p> </div> | | | | | | | | | | | |
| <p>① 事業全体への 想いや願い</p> <p>② 導きたい 未来</p> <p>③ 活動の 流れ</p> <p>④ はたらく 機能や効果</p> <p>⑤ もちいる 仕組み</p> <p>⑥ ゆるぎない 信念</p> | | | | | | | | | | | |

① 想いや願い

あなたが本事業を行おうと思ったきっかけや熱意など、を具体的に挙げましょう

② 導きたい未来

本事業の実施で与える、対象、領域、好影響など、①と③を参考にして、期待する未来を想像しましょう

③ 活動の流れ

あなたのこだわりが詰まった具体的な内容や、展開の方法、予算配分など、をまとめましょう

④ はたらく機能や効果

本事業を実現するために必要な構造を、③と⑤を参考にして、その機能や効果を探しましょう

⑤ もちいる仕組み

有効な実践や研究を残した誰かの成果、学術的な裏付けなど、あなたが本事業を興す根拠を整理しましょう

⑥ ゆるぎない信念

事業を行いたい明確な理由はなにか、①と⑥を参考にして、あなたのこだわりを明確にしましょう

※ 本構造では、①、③、⑤の内容が、②、④、⑥の内容をつくります

①&③→② ③&⑤→④ ①&⑤→⑥ を心がけましょう

事業目的（黄色の領域）は、P.3で作成した文章と照らし合わせ、書き出した項目を参考に100字程度もしくは箇条書き（2つほど）でまとめましょう

記入が楽だった領域は、あなたのこだわりが詰まっていますから、ていねいに分析して洗練させましょう

記入に悩んだ領域は、事業計画を立案する際の弱点ですから、じっくり考えましょう

財団の「ことづくり生活」活動方針

キーワード < 解釈 ・ あいだ ・ 曖昧の許容 >

1. 暮らしの中の解釈が人をつくる

- ・私たちは自らの意思で身の回りを解釈して意味づけし、そこに意義や価値を見い出します
- ・情報のインプットには知識も大切ですが、異なる視点を複数得ることはもっと大切です
- ・暮らしの中で「？」を感じるきっかけを得て、見かたや考えかた、感じかたを更新させましょう

2. 自らで答えを豊かに創造する

- ・私たちの人生に失敗はなく、あるのは経験（事実）と実感（解釈）です
- ・人の解釈は、情報の分解や再構成スクラップアンドビルドによって、自らの都合に合わせやすい特徴があります
- ・時代や社会、身近な情報から自分なりの答えをつくり、心豊かな暮らしを営みましょう

3. あいだ探しという旅

- ・私たちが自由につくる自分なりの答えとは、正解でもあり、不正解でもある状態です
- ・ひとつの存在や概念などには、常に複数の情報（原因や結果、意味や意図など）が紐付いています
- ・知識と想像のあいだをたゆたって共通点や差異点を探すなど、俯瞰の姿勢を意識しましょう

4. 謎かけや謎解きの自己演出

- ・同じもの・ことを見ても、解釈のしかたで多様な意味や価値などが生まれます
- ・人の想像性は、どこかの理論や常識に忖度する必要がありません（敢えて反対する、など）
- ・他者と解釈をすりあわせる、楽しさや難しさの経験を積み上げましょう

5. 曖昧の許容（偶発性や不確実性の容認）

- ・偶発性の優先度を、事前の計画性と同程度に位置づけてみましょう
- ・曖昧さは思い込みや縛りから解放されるきっかけを生み、心にゆとりをもたらします
- ・不確実性への期待から新たな解釈を生み出して、ささやかな開拓心を揺さぶりましょう

6. こだわりへの自覚と実践

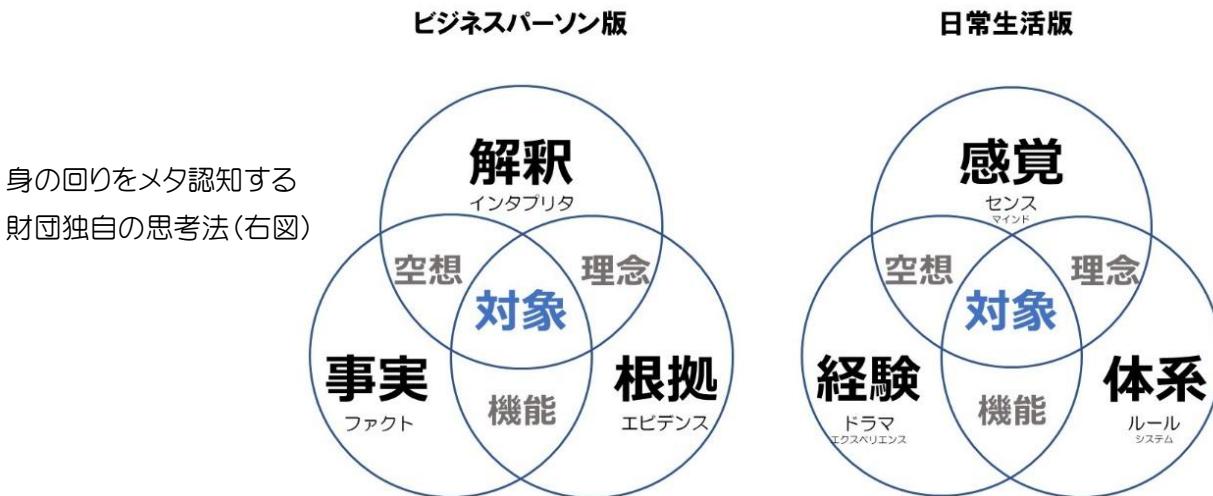
- ・成果や結論アチーブメント コンクルージュンに縛られると、日常の「ふるまい」が息苦しくなります
- ・もの・ことの本質は、財団独自の「へそ思考」でじっくり俯瞰してみましょう
- ・自分らしいこだわりは残しながら、時代や社会の流れに身を任せるきま様も楽しみましょう

これらの活動プロセスは、図工・美術教育で行う表現活動の方向性と重なる点が多いのです。

ですから財団の基本方針は、図工・美術教育を活用しています。

ことづくり生活(解釈や過程を楽しむ)評価ポイント

- ① 過去の体験や情報の上に、追加や削除、変更や更新などの工夫点が加わりましたか
- ② 偶発性や不確実性を織り込んで、そこに期待する気持ちを高められましたか
- ③ 知識や心情に基づく情報を、だれかと対等に交換し合う「対話」を楽しめましたか
- ④ 複数の対象(物質や概念など)を選択して、あいだ探しが試せましたか
- ⑤ 思考が逡巡しても、本質を見失わないシステム(自分ルール)が見つかりましたか
- ⑥ 目の前の答えに固執せず、問い合わせの往還をゆったりと楽しめましたか



財団が大切にしてきた「こと」(一部紹介)

時間は誰にも公平に訪れる
解釈することは生きること
モノは数多のコトで成り立ち、変化する一瞬を切り取って見ている

命をつなぐ以上に、今日することなんて、あまりない
明日のあなたを今日より輝かせることが、きっとある
すべきこととしたいことは、一致しないからおもしろい

ひとつ試すと、自分の殻が1枚脱げる
失敗は、気づきと思えば苦にならない
だれかの答えが、あなたの答えとは限らない
答えは常にあなたの内で、あなたが気づくのを待っている

など